

令和3年度_東京純心大学_英語正解_一般選抜第3回

第1問 各1点×16問=16点

1	2	3	4	5	6	7	8
①	①	④	④	④	③	④	③
9	10	11	12	13	14	15	16
①	①	②	②	②	③	③	③

第2問 各2点×4問=8点

17	18	19	20
④	②	3	③

第3問 21-22、23-24 それぞれ完全解答：各4点×2問=8点

21	22	23	24
③	④	②	③

第4問 25~30：各1点×6問=6点 31~36：各2点×6問=12点

25	26	27	28	29	30
④	①	④	④	①	①
31	32	33	34	35	36
③	④	③	④	②	④

第5問 各4点×10問=40点

37	38	39	40	41
③	③	②	④	④
42	43	44	45	46
②	①	④	④	②

第6問 10点

若者は対人関係等の助言を求めるのに、対面よりもEメール、ソーシャルメディアを好む。児童・青年に関する白書によると公的支援を受ける際に、Eメールを希望するのが30.8%、ソーシャルメディアが26.4%、電話を希望するのが22.6%、対面を希望するのが21.0%で、15から19歳では32.2%がソーシャルメディアを希望し、対面を希望するのは18.4%であった。浜松市でラインによる相談を行ったところ2週間で年間の相談件数の半数を超える程であった。(196文字)